

グローバル人材集積と 生涯活躍のまち推進で実現する 新たな街づくり構想（提案書）



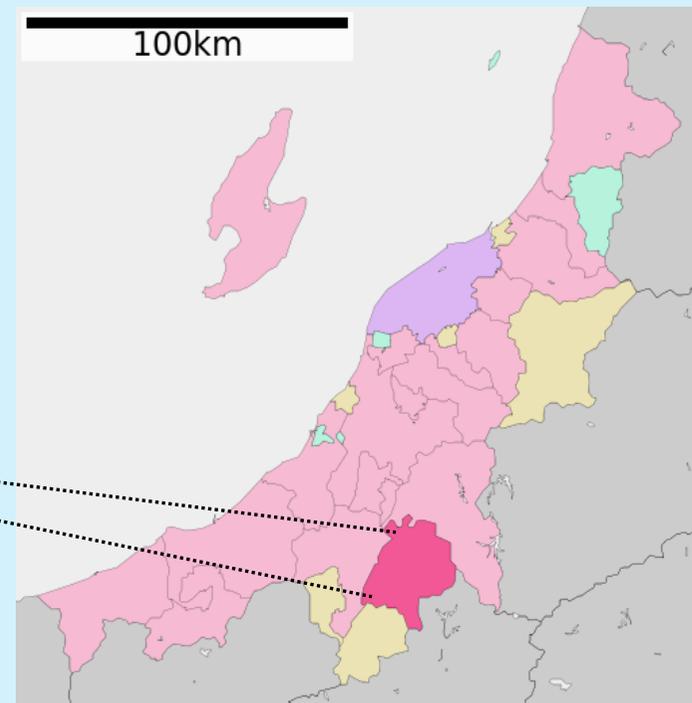


新潟県南魚沼市の概況

南魚沼市は、新潟県南部の魚沼盆地に位置し、太平洋側と日本海側を結ぶ交通の大動脈が集中しており、関越自動車道や上越新幹線などの高速交通によるアクセスは大変便利で、関東圏はもとより日本海側への交通および物流の中継地としての役割を果たしている。

こうしたアクセスの利便性を活かして、スキー観光地として観光産業基盤の充実が進むとともに、通勤・通学圏は新潟市近郊はもとより関東圏にまで拡大しており、民間企業の進出のみならず、国際大学、北里大学保健衛生専門学院などの教育機関も立地し、国内外から多くの学生が在学している。

地域ブランドとして全国的に高い評価を受けている「南魚沼産コシヒカリ」を中心とした農業の振興や、新たな起業への支援と優良企業の誘致をさらに進め、若者が定住し安心して働けるまちづくりを進める一方、四季折々の彩り豊かな自然景観と山紫水明の自然環境の中でのスキーなどのスポーツ、屋外レクリエーション、グリーンツーリズム、温泉など資源を生かした多彩な交流の拡大により、市の一層の発展・飛躍が期待されている。





南魚沼市の特徴



南魚沼市は首都圏への交通網が優れている

(電車でのアクセス)

東京駅から上越新幹線で浦佐駅まで最速1時間30分

(自動車でのアクセス)

関越道・練馬ICから、大和スマートICまで198.3km・約2時間20分



ビジネスのランニング・コストが安い

オフィスセット・アップ経費及び生活住居費の合計が、東京と比較した場合(JETRO資料より)約1/3となる。



自然環境が優れている

四季の彩りがはっきりとし、ストレス・フリーな自然環境のなかでグローバル展開を目指すことができる。また「南魚沼産コシヒカリ」、清酒「八海山」等日本を代表する食材の宝庫でもある。



国際色豊かな高度学術機関「国際大学」(IUJ)がある

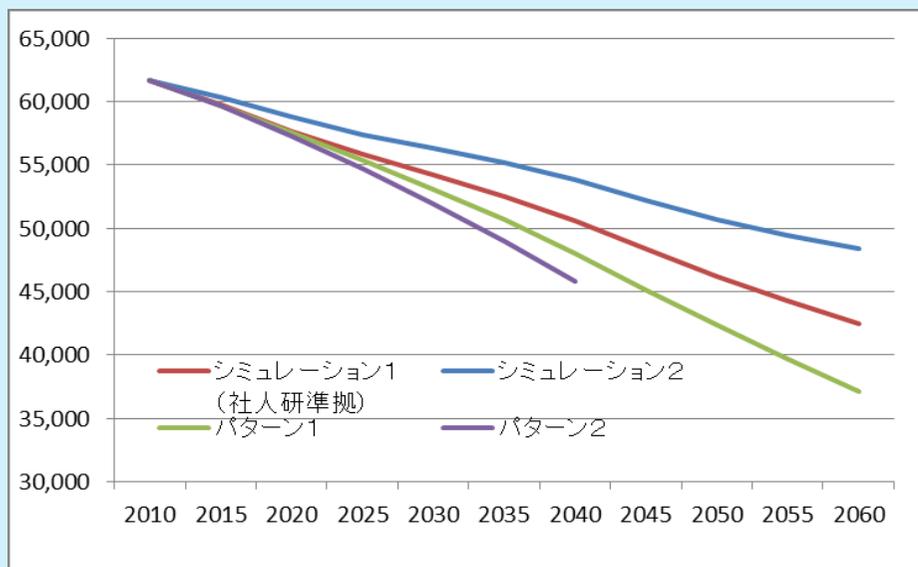
「The Economist」のビジネス・スクールランキングのMBAプログラムランキングで、世界のトップ100校にランクインしている国際大学があり、ローカルにあってもグローバルな地域環境にある。



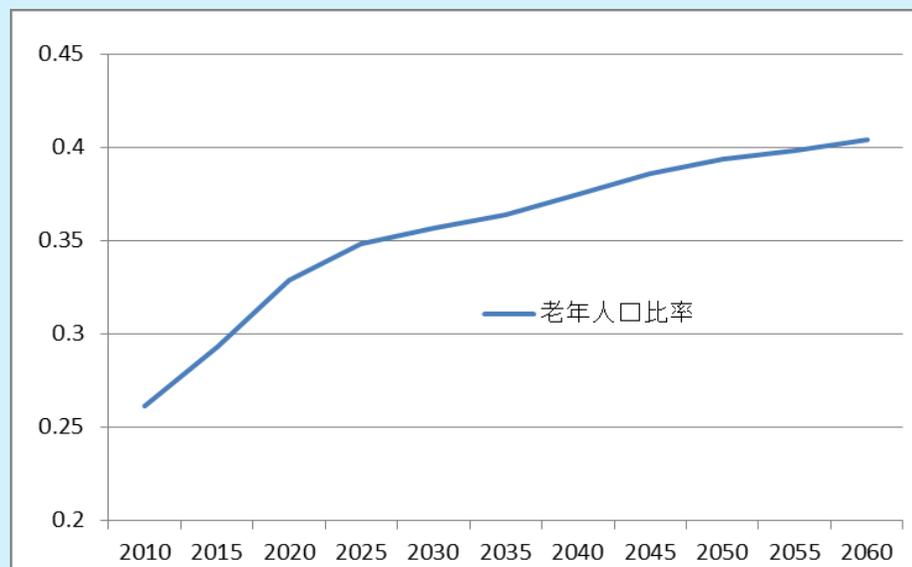
なぜグローバル人材集積×生涯活躍のまち 推進特区を提案するのか？①

(南魚沼市の人口動向)

2015年現在5万9千人の人口は、2060年には約3万7千人と現在の約6割にまで減少すると予想されている。一方で高齢者の比率は今後も増加を続け、2060年には40%に達すると予想されており、地域・経済・福祉の様々な面で担い手不足が懸念される。



(南魚沼市の総人口の推計値)



(南魚沼市の老年人口比率)

出典) 地域経済分析システムより作成

☆解決するためには…

積極的な移住施策による人口増加をはかり、地域づくりや課題解決に向けた新しい取組など、移住者が活躍できる環境づくりを進めることにより、移住者を含めた地域全体の交流が促進され、産業・地域の活力向上に繋がる街づくりが実現できる。

なぜグローバル人材集積×生涯活躍のまち 推進特区を提案するのか？②

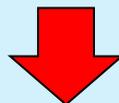
グローバル人材の活用

GLOCAL = GLOBAL + LOCAL
(地方のグローバル化)

☆では、どのように？…

ローカルにあっても当市の国際色ある地域特性を生かして、海外から高度なIT技術を有する人材を誘致するとともに、ビジネス経験が豊富なアクティブシニア世代の移住を促進する。

移住者相互や地域との交流が進むことにより、新たなビジネス・モデルの構築とビジネス・チャンスが拡大し、若者にとっても魅力ある雇用の場が創出ができる。



(特区実現によるメリット)

(地域)

- ・地域経済の活性化
- ・海外高度人材の誘致
- ・雇用の創出・若者の定住促進
- ・海外資本の導入
- ・経験豊かな国内移住者の獲得
- ・地域への参加・交流

(企業)

- ・生産性の向上
- ・優秀な労働者の獲得
- ・グローバル・パートナーシップ
- ・グローバル競争力の強化
- ・海外市場への進出

グローバルITパーク南魚沼事業について

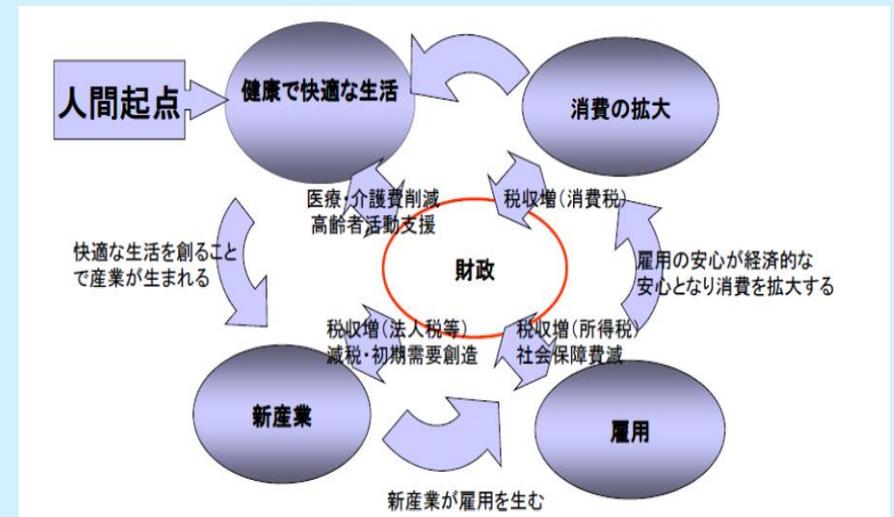


当市にある国際大学の人脈を活用しながら、インド・スリランカ等IT技術先進国から高度なIT技術を有する企業を誘致する「グローバルITパーク事業」を進めている。IT産業のクラスター化を進め、国内外の企業等との技術交流を行うことにより、地元企業を中心に日本企業の生産性を高め、産業振興を図ることを目的とし、最終的に350社の海外IT関連企業の集積を目指す構想。



南魚沼市生涯活躍のまち(CCRC)構想について

南魚沼版CCRCは、南魚沼の地理、気候、歴史、産業等の資源を活用し、第二の人生を大都市以外で送ろうと考える東京圏等在住のアクティブシニアを対象に、国際大学等との連携により地域との共生による、地域にひらかれた「グローバル・コミュニティ」を形成し、プラチナタウンを実現するもの。



(健康な生活がプラスの連鎖を生むコミュニティ・モデル)

外国企業がビジネスをしやすい環境づくり(特許)

- 特許出願にあたり、日本語での翻訳文の添付が必要となるが、英語のみの出願を可能とする。
(特許法)

外国企業がビジネスをしやすい環境づくり(各種申請)

- 法人設立、保険加入等の各種申請において英語のみによる申請を可能とする。
(労働保険の保険料の徴収等に関する法律、雇用保険法、健康保険法、厚生年金保険法等)

外国企業がビジネスをしやすい環境づくり(出入国)

- 外国人の高度IT人材の受入れにあたって必要とされる出入国関係の書類や在留要件のハードルが高いため、一定の緩和が必要。(出入国管理及び難民法)

グローバル人材が集積しやすい環境づくり(生活・教育)

- 外国人医師による母国語でのケアができるようにする。
(外国人医師等が行う臨床修練に係る医師法)
- 外国人看護師、社会福祉士、介護福祉士等を増やし母国語でのサポートができるようにする。
(外国人医師等が行う臨床修練に係る医師法)
- グローバル人材の教育環境を改善する。(学校教育法、教育職員免許法)



グローバル人材集積×生涯活躍のまち 推進特区にむけた提案 ②

グローバル人材が集積しやすい環境づくり(交流)

- ビジネス上の商談等で訪れる外国人が増えることにより、宿泊施設が不足する。
一定件を満たす施設、住宅については外国人旅客への提供を可能にする。(旅館業法)

生涯活躍のまち実現に向けた環境づくり(サービス)

- サービス拠点施設については、地域の実情にあわせ、車での巡回などの移動型拠点を認めることを含め、見守り要件の更なる距離的緩和を図る。
(国土交通省・厚生労働省関係高齢者の居住の安定確保に関する法律施行規則、国土交通省・厚生労働省関係高齢者の居住の安定確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について)
- 必須サービスの提供について、地域の見守り活動の主体である自治会や消防団・民生委員・老人クラブ等を活用できるよう資格要件を緩和する。
(国土交通省・厚生労働省関係高齢者の居住の安定確保に関する法律施行規則)

生涯活躍のまち実現に向けた環境づくり(条件緩和)

- 「サービス付き高齢者向け住宅」について、必須サービス(安否確認・生活相談)のみの場合も、介護保険の住所地特例を適用する。(介護保険法)
- NPO法人の設立認証申請時の縦覧期間を2週間に短縮するなど、事業のスタートアップに向けた迅速化を図り、NPO法人設立の活性化を図る。(特定非営利活動促進法)
- 地方自治体又は一定要件を満たすNPO法人等(まちづくりの推進や農山村・中山間地域の振興など、移住促進に繋がる活動を行っている団体であり、自治体や地域の宿泊事業者(農林家民宿等含む)・住民団体等と密接な連携のもと、非営利で企画・実施する場合)が直営で行う移住希望者への「移住体験ツアー」等の実施については、旅行業法の適用除外とする。
(旅行業法)